

新潟市PTA

令和4年
第46号

12月

Contents

P1 … 広報紙コンクール結果発表

P2 … 会長あいさつ／市P連・区P連研究大会

P3 … 区P連研究大会／コミュニティスクール便り

P4 … 自転車保険どうすればいいの？／PTA交流会／編集後記

令和4年度 広報紙コンクール結果発表

小学校の部



小学校の部

最優秀賞

「PTAにいがた」新潟小学校PTA

優秀賞

「はぐく美」亀田西小学校PTA

奨励賞

「しのゝめ」葛塚東小学校PTA

「しののめ」亀田東小学校PTA

「五和(いつわ)」曾野木小学校PTA

「のびゆく芽」早通小学校PTA

中学校の部

最優秀賞

「わかくさ」西川中学校PTA

優秀賞

「PTAくずつか」葛塚中学校PTA

奨励賞

「寄居会報」寄居中学校PTA

「曾野木」曾野木中学校PTA

中学校の部



今年度の広報紙コンクールも多くの学校から応募を頂き大変ありがとうございました。コロナ禍で活動が制約され掲載する記事に苦勞する中、各学校とも工夫して作成していることを感じながら審査をさせていただきました。審査には新潟日報社編集局整理部第二部長の笹川克年様をお迎えして様々な角度から総合的に判断をされた10校が見事に受賞の栄誉に輝きました。

審査委員長講評

令和4年度新潟市小中学校PTA広報紙コンクールの審査を終えて

新潟日報社編集局整理部第二部長 笹川 克年

PTA広報紙の出来栄を競うコンクールの審査に携わり、すっきりしたレイアウトでビジュアルに訴える作品が多いことに驚きました。全体のレベルが高く、文字だけだったひと昔前のPTA便りとは大違いでした。小学校の部では新潟小の「PTAにいがた」が秀逸でした。表紙がカラフルな上に楽しそうで、「中を見てみよう」という気持ちにさせる紙面でした。表紙の印象は重要です。亀田西小の「はぐく美」、万代長嶺小の「翔」も良かったです。中学校の部は全体的に「真面目に作られている」という印象でした。写真を大胆にあしらったり見出しを工夫したりと、もう少し遊び心を加えてもいいと思います。西川中の「わかくさ」、葛塚中の「PTAくずつか」は総合力で他を上回っていました。難しい審査でしたが、各紙を読み比べながら「作り手は大変だろうなあ」と思いました。企画を考え、取材し、原稿を集め、レイアウトして印刷する。貴重な時間と労力を無償で提供するPTA活動に頭が下がります。家庭も学校もずいぶん忙しくなりました。共働きの保護者が増え、教員の過重労働は社会問題となっています。配布物の電子化が進む中、広報紙作りを簡素化したり、やめたりする学校が増えているといいます。苦勞して作った方がいいが、きちんと読んでもらえるのだろうかー。それは、新聞社が抱える悩みとも共通です。新聞をめくってざっと見出しを眺め、気になったものだけ記事に目を通す。忙しい現代人には、そんな読み方が広がっているといいます。購読をやめる理由に「忙しくて読む暇がない」と挙げる人が多いとも聞きます。新聞記事はコンパクトに、見出しは簡潔明瞭に。写真やグラフィックスも効果的に使う必要があります。何より、読者が知りたいことや気になるものに、もっともっと敏感にならなくてはならないと感じました。新聞社の根幹ともいえる問いかけを、広報紙の審査から突きつけられた気がします。



会長あいさつ

本年度は、新型コロナウィルスへの感染対策を講じながら、できうる限りの事業を遂行しております。特に、各区実行委員会の精力的なご尽力により、市内8区すべてで研究大会を開催することができ、12月には北区で当連合会の主催事業、新潟市小中学校PTA研究大会を開催の運びとなりました。PTA会員の皆様が、子どもたちの笑顔のために、単位PTAで活発に活動できるよう、引き続き新潟市小中学校PTA連合会で後押ししてまいります所存です。



佐藤 邦栄(鳥屋野中)

市P連研究大会 今年は北区にて開催!

「壊されゆく子どもたち 夜回り先生 命の授業」

講師 夜回り先生 水谷 修氏

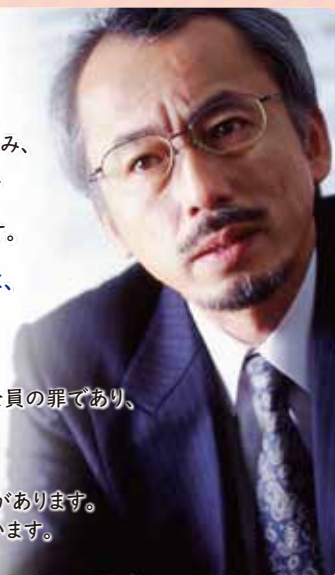
今年度の「新潟市小中学校PTA研究大会 北区大会」は12月17日(土)に新潟市北区文化会館において行われる予定です。講師には「夜回り先生」としてテレビ等でも活躍されている水谷修様をお迎えして「壊されゆく子どもたち:夜回り先生 命の授業」と題して講演をいただきます。内容の詳細や聴講者の感想については、次号(47号)にて報告させていただきます。

この町で、この国で、この世界で、
たくさん子どもたちが、笑顔を忘れ苦しんでいます。
世界を見れば、戦争や飢えで多くの子どもたちが苦しみ、
この国でも、いじめや虐待、引きこもりやこころの病で、
たくさん子どもたちが苦しんでいます。
いのちや人生を失っている子どもたちもたくさんいます。

一人の子どもが、笑顔を忘れ涙を流すことは、
私たち大人全員の恥であり、
私たち一人ひとりの恥です。

一人の子どもが、いのちを失うことは、私たち大人全員の罪であり、
私たち一人ひとりの罪です。

私たち大人には、
すべての子どもたちを笑顔に、幸せにする義務があります。
子どもたちは、私たち大人からの助けを待っています。



魅力たくさん! 区P連研究大会

西蒲区

「人権、いじめ見逃し」

講師 新潟お笑い集団 NAMARA 高橋 なんぐ氏



西蒲区では、研究大会を動画配信にて開催致しました。(10月11日(火)~11月11日(金))「新潟お笑い集団NAMARA」の高橋なんぐ様より「いじめ・人権・見逃し」をテーマにご講演をいただきました。「当たり前は人によって違う」、「あなたは大事」という言葉が印象に残り、改めて、個人一人一人の個性や考え方を大切にしていかなければと感じました。多くの方にご視聴いただき感謝申し上げます。

中央区

「どうやって考える?これからのPTA」

講師 メンタルリンク代表 須藤 悦子氏

11月3日(木祝)ブライダルステージデュオ グランシャリオにて中央区小中学校研究大会が久しぶりに対面で開催されました。第1部の講演会では、須藤先生から自らの子育てやPTA経験を踏まえて、広報のあり方やPTA活動のやり方、より活動参加者を増やす為の仕組みを考える重要性などお話いただきました。第2部の研修会では、自校のPTA活動を通して見えるPTAの役割、これからのPTAについて話し合いました。子どもたちの笑顔、安心安全のために活動をしたい参加者も多く、自校の課題点など様々な意見交換が行われました。



南区

フロアカーリング大会

南区小・中・高等学校PTA交流会『各校PTA対抗フロアカーリング大会』を11月5日(土)、白根カルチャーセンターにて5年ぶりに実施致しました。当日は市P連副会長チームも参加し総勢71名で楽しく、熱い戦いが繰り広げられました。



東 区 「一生幸せなHSCの育て方」

講 師 公認心理師 杉本 景子氏



3年ぶりとなる東区のPTA研究大会は11月12日(土)、NOCプラザにて開催されました。千葉県より、公認心理師の杉本景子先生をお招きし、生きづらさを感じる子どもたちについて共に考えました。アメリカの心理学者であるエレイン・N・アーロン氏が提唱したHSC (Highly Sensitive Child) とは、「人一倍敏感な子ども」という意味で人種や性別に関係なく5人に1人はHSCともいわれており、実は多くの人が持っている性質で疾病ではありません。HSCのお子さんに特に必要なことは「助けてくれる人がいる」という安心感だそうです。今回、具体的な接し方を学んだことで、今までとは全く異なる解決改善方法が見えてきた方も多いのではないのでしょうか。当日は会場・オンライン合わせて150人超の皆さんに参加していただき、とても有意義な時間を過ごすことができました。今後も、家庭・学校・地域で連携した子育て情報を発信し続ける意義を実感しています。共に、子どもたちの明るい未来を築いていきましょう!



西 区

11月下旬 黒崎市民会館で撮影

元宝塚歌劇団月組組長の越乃リユウ氏を講師に迎え、動画配信にて講演会を開催予定です。

江南区

11月26日(土) 亀田市民会館大ホール

ラジオパーソナリティーの遠藤麻理氏を講師に迎え、「自暴自棄から「自望自棄」へ」と題して、ハイブリッドにて講演会を開催予定です。

秋葉区

12月17日(土) 秋葉区文化会館ホール

秋葉区長の長崎忍氏を講師に迎え、対面にて講演会を開催予定です。



CS便り 単Pより

白根小学校 コミュニティ・スクール会議

令和4年度からコミュニティ・スクール(学校運営協議会)制度が市内全校で導入されています。白根小学校でもコミュニティ・スクール第2回目の会議が10月に開催されました。構成委員は白根コミュニティ協議会の会長さんを中心とする地域を代表する方々が集い、学校運営に関しての今後の方針や課題を共有する時間となりました。子どもの数の減少や働き方改革、コロナ禍での学習環境の変化などによって学校運営も大きく変わってきている近年ですが、会議を通して地域全体で理解を深め課題に向き合う必要性を改めて感じました。私も委員の一人として、コミュニティ・スクール制度の目的である「地域とともにある学校づくり」を目指して、それが子どもたちにとってより良い学びの環境に繋がる事を願って活動しています。

白根小学校PTA 市嶋洋介



自転車保険の加入が義務化って…どうすればいいの？



今年10月から自転車保険の加入が義務化されているのをご存知ですか？

新潟県では、「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が制定・施行されたことにより、令和4年10月1日から自転車損害賠償責任保険等への加入が義務化されました。

もう皆さんは加入済みでしょうか？「そもそもどんな保険に入ればいいのか」「どうやれば加入できるの？」といった疑問について調べてみました。

●自転車保険(自転車損害賠償責任保険等)って何？

新潟県の資料によると、自転車保険とは、自転車の利用によって他人の生命または身体を害した場合における損害を補償する保険又は共済(自転車損害賠償責任保険等)を指します。

自転車事故で被害が及ぶのは自分だけではありません。自分が加害者となり、他人にケガなどをさせてしまった場合の損害賠償金をカバーしてくれるのが「個人賠償責任補償」であり、この「個人賠償責任補償」に入りましょうというのが義務化のポイントです。

●個人賠償責任補償にはどうやったら入れるの？

個人賠償責任補償の加入にはいくつかの方法があります。

① 個人賠償責任補償特約

既に加済済みの自動車保険や火災保険といった「損害保険」の契約に個人賠償責任補償を特約として付けることが可能です。自転車に特化した自転車保険もあります。

② 共済

既に生命共済、傷害保障型共済、火災共済等に加済している場合に、共済の個人賠償責任保険に入ることが可能です。

③ 団体保険

小・中学生総合保障制度*の場合、基本プランに個人賠償責任補償がセットでついてきます。

※詳しくは、2月下旬配布予定の(一社)新潟県PTA安全互助会からの募集パンフレットをご覧ください。

このほかにもいろいろな方法があります。まずはご自身(ご家族)の保険の内容を確認してみてください。保険加入の義務化による罰則はありませんが、子どもだけでなくもちろん大人も補償の対象となります。自転車も法律上は軽車両、車に乗る以上は、もしもの保険は重要ですので、この機会にしっかりと考えてみましょう。

ご参加お待ちしております♪

『新潟市PTA交流会』を右記の通り開催いたします。一般のPTA会員の方も是非ご参加ください。また3年ぶりに懇親会も予定しております。有意義な交流会となりますように！申し込み方法など詳細は、各学校へご案内いたします。

日時 令和5年2月4日(土) 13:30～

会場 ANAクラウンプラザホテル新潟

実践発表 荅南小学校『テイクアウトまつり』

白山小学校『PTAのボランティア制』

研修会 テーマ『これからのPTAを考えよう(予定)』

編集後記

今号では、各区ごとの研究大会の内容を取り上げました。集合型での開催も増え、徐々に日常を取り戻しつつあります。「冬来たりなば春遠からじ」、コロナ禍という長いトンネルにも、少しずつ光が差し込んでくることでしょう。広報委員会では、今後とも皆様のPTA活動を、紙面を通じてバックアップしていきますので、よろしくお願いします。(Y.K)

<広報委員会>

委員長	永田 向太郎
副委員長	金塚 美咲 長谷川 雅朗
委員	金子 敦子 大野 恭司 市嶋 洋介 大旗 裕一郎 小林 祐介 土屋 毅

ホームページもご覧ください！

新潟市小中学校PTA連合会

検索

〒950-0088
新潟市中央区万代1-3-30
万代シティホテルビル3F
TEL:(025)242-0177

